

2. 全体構想

2-1 将来都市構造

本市の基本的な都市構造は、様々な都市機能が集積した市民生活の拠点、地域の活力を生み出す産業・流通拠点、地域の特性を活かした観光リゾート拠点などの「まちづくりの交流拠点」と、都市としての活力を育み新たな交流を創出する「まちづくりの軸」によって構成されます。

これらのまちづくりの交流拠点や軸は、本市のあるべき将来像の基本構造を示すとともに、これらに基づき、具体の基盤整備事業や民間施設の立地を誘導することにより、本市のあるべき将来都市像を実現していくうえでの導きとなります。

(1) まちづくりの交流拠点

都市づくりの基本目標及び都市づくりの基本方向に基づき、にぎわい生活産業拠点として中心市街地整備拠点地区、観光リゾート拠点として鳴門公園地区、大麻地区の2地区、新産業・流通拠点として国道11号沿道地区、国道28号沿道地区の2地区をまちづくりの交流拠点として位置づけます。

1) にぎわい生活産業拠点

① 中心市街地整備拠点地区

鳴門駅周辺は、鉄道・バスなどの公共交通の発着拠点があり、商業店舗や公共公益施設の集積が見られることから、市民の日常生活に欠かせない場所となっています。また、街路、公園、下水道などの都市基盤整備が進み、住まう場所としても良好な市街地が形成されています。

こうした現状をふまえ、鳴門駅周辺を本市の中心拠点として位置づけ、個性的で魅力ある商業や業務機能の集積を促進し、徒歩や自転車で移動できる範囲に必要な都市機能が集積したコンパクトな都市づくりを進めます。

また、都市機能の集積による生活の利便性の向上とあわせて、中心市街地及び中心市街地に隣接するエリアの居住環境の改善などを推進し、住まう場所としての魅力を高める「街なか居住」を推進します。

中心拠点施設	J R鳴門駅
周辺拠点施設	商業の拠点（中心市街地、沿道商業地など） 文化の拠点（文化会館、ガレの森美術館、図書館など） 水の拠点（撫養・新池川親水ゾーン、岡崎海岸、鳴門ボートレース場など） 緑の拠点（鳴門・大塚スポーツパーク、うずしおふれあい公園など）

2) 観光リゾート拠点

① 鳴門公園地区

鳴門公園地区は、瀬戸内海国立公園内に位置し、渦潮に代表される鳴門海峡など世界に誇れる観光資源を有しています。神戸淡路鳴門自動車道の開通以降、大塚国際美術館や鳴門ウチノ海総合公園などの観光・レジャー施設がオープンし、観光地としての基盤整備が進んで

いますが、娯楽の多様化が進むなか、今後も個性的で魅力ある観光リゾート拠点としての基盤整備を進める必要があります。

このため、鳴門公園地区の最大の魅力である美しい景観とその基盤となる豊かな自然環境を保全しつつ、これらと調和した鳴門らしく魅力あふれる観光リゾート拠点の形成を推進するとともに、観光複合施設の立地を検討します。

特に、現在整備中の都市計画道路黒山中山線は、鳴門公園地区から中心市街地整備拠点地区及び大麻地区へのアクセスの向上に重要な役割を果たすことが期待されています。このため、自然環境との調和に配慮しつつ、開通後の沿道への利便施設の立地誘導について検討を進めます。

中心拠点施設	鳴門公園、大鳴門橋、大塚国際美術館、ウチノ海総合公園
周辺拠点施設	鳴門北インターチェンジ、亀浦港・観潮船乗り場 鳴門塩田公園（福永家住宅） 鳴門教育大学 内の海釣り屋形舟 日出湾海浜リゾート

②大麻地区

大麻地区は、四国霊場第一番札所霊山寺、第二番札所極楽寺をはじめ、大麻比古神社や大谷焼きの里など本市を代表する歴史的文化的な観光資源が多数残されています。また、ドイツ村公園周辺では、四国横断自動車道の開通に伴い、鳴門西パーキングエリアや道の駅「第九の里」、賀川豊彦記念館が整備されるなど、観光拠点としての基盤整備が進んでいます。

このため、大麻地区は、鳴門公園地区と並ぶ本市の二大観光拠点としての役割が今後いっそう期待されていることから、この地区の持つ歴史的文化的資源を保全・活用し、これらと調和した落ち着きとやすらぎのある通年型の観光拠点としての基盤整備を進める必要があります。

特に、鳴門公園地区からのアクセスの向上を図るため、鳴門西パーキングエリアへのスマートインターの導入を検討します。

中心拠点施設	ドイツ村公園（ドイツ館、賀川豊彦記念館、道の駅「第九の里」）
周辺拠点施設	鳴門西パーキングエリア、池谷駅、板東駅 四国霊場（霊山寺、極楽寺）、大麻比古神社、大谷焼きの里 大麻山県立自然公園

3) 新産業・流通拠点

①国道11号・28号沿道地区

国道11号、国道28号沿いは、神戸淡路鳴門自動車道・鳴門インターチェンジや徳島空港からのアクセスが良いことから、産業や流通業等の立地が期待されており、本市のにぎわいや活力を牽引する上で非常に重要な地域です。

しかし、この地区の多くは市街化調整区域であり、本市の南部は生産性の高い農地で占められていることや、国道11号沿いの鳴門インターチェンジより北はほとんどが山林であることから、農業や自然環境の保全との調和を図りながら、土地の有効利用を進める必要があります。

このため、この地区を新産業・流通拠点として位置づけ、自然環境の保全との調和を図りながら、民間主体による計画的開発を誘導していくこととします。

中心拠点施設	鳴門インターチェンジ、国道11号、国道28号
周辺拠点施設	徳島空港、なるとソフトノミックスパーク、鳴門複合産業団地

(2) まちづくりの軸

まちづくりの軸は、都市としての活力を育み、地域間の交流をうながす機能を担います。本市のまちづくりの軸として、各拠点を結ぶ「交流の軸」を位置づけます。

1) 交流の軸

① 広域軸

地域を縦横断する広域交通の軸となり、現在及び将来にわたり市の都市構造のよりどころとなる次の3つの幹線道路を広域軸として位置づけます。

神戸淡路鳴門自動車道 四国横断自動車道 都市計画道路かちどき橋鳴門線（国道11号）

② 地域軸

地域軸は、地域間交通の軸となる主要な幹線道路であると同時に、まちづくりの拠点を結び、地域の交流をうながし活力を育む軸です。ここでは、「中心市街地整備拠点」と2つの「観光・リゾート拠点」及び2つの「新産業・流通拠点」とその周辺地域を結ぶ機能を担う、次の幹線道路を地域軸として位置づけます。

中心市街地整備拠点地区と鳴門公園地区を結ぶ軸
都市計画道路大津橋日出線 鳴門公園線（県道11号） 都市計画道路黒山中山線

中心市街地整備拠点地区と大麻地区を結ぶ軸
都市計画道路吉永西小沖線 鳴門池田線（県道12号）

鳴門公園地区と大麻地区を結ぶ軸
都市計画道路黒山中山線 都市計画道路かちどき橋鳴門線（国道11号） 鳴門池田線（県道12号）

中心市街地整備拠点地区と国道11号沿道地区を結ぶ軸

都市計画道路吉永西小沖線
鳴門インターチェンジ付近と中心市街地周辺を結ぶ幹線道路

国道11号沿道地区と大麻地区を結ぶ軸

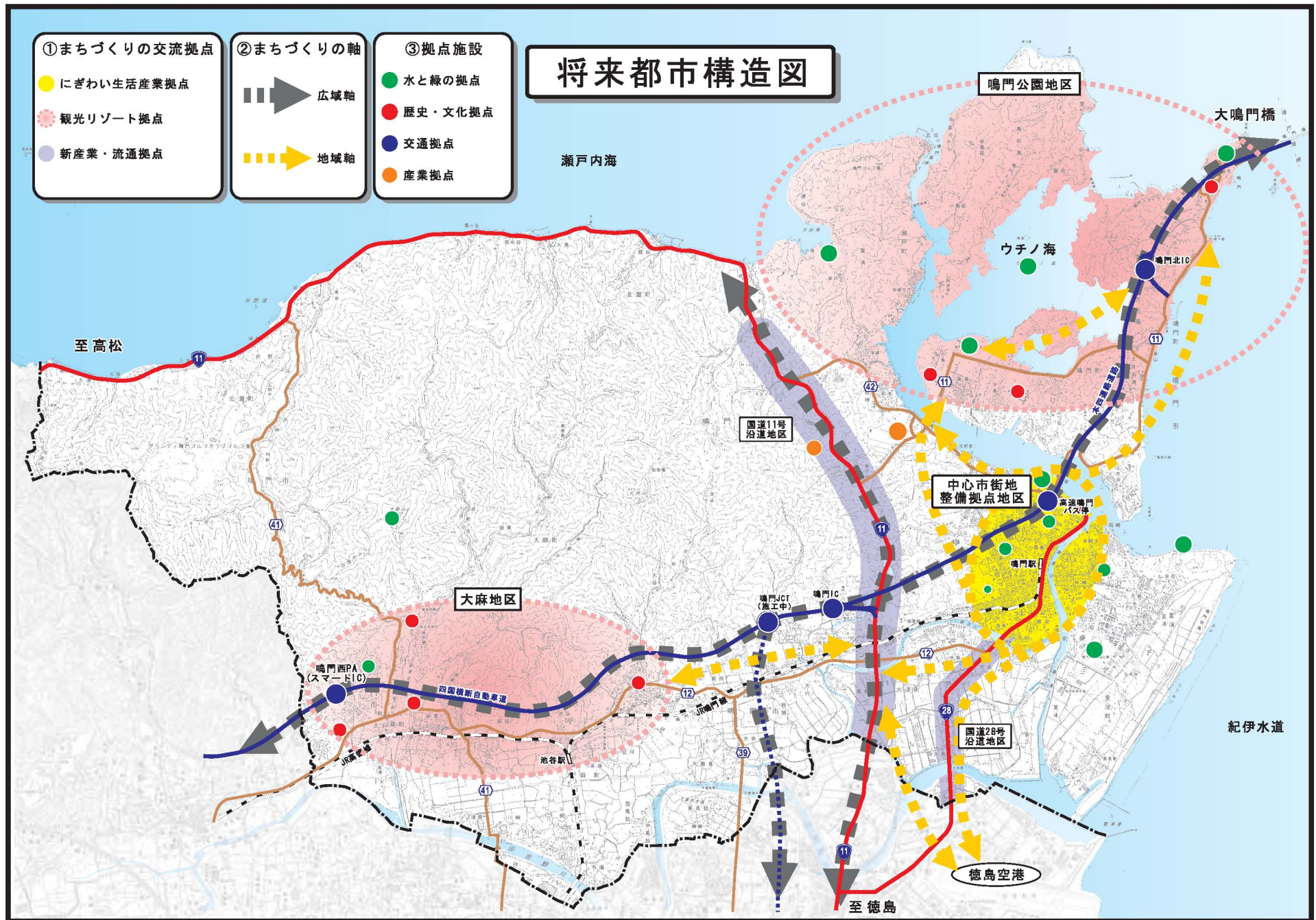
鳴門池田線（県道12号）

国道11号沿道地区と鳴門公園地区を結ぶ軸

都市計画道路黒山中山線
都市計画道路かちどき橋鳴門線（国道11号）

国道28号沿道地区と中心市街地整備拠点地区を結ぶ軸

都市計画道路大津橋日出線



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第228号）